

敬愛の風の中で



松浦市立上志佐小学校

学校通信 第5号

令和5年7月18日(火)

発行責任者 川田啓之

学校教育目標

「なかよく共生」「たくましく自立」

みんなの宝物 「人を大切にする敬愛の心」

ホームページアドレス : <https://matsuura-kes.jp>



全ての存在は そこにあるだけで尊い

ぼくがここに

まど・みちお

ぼくがここにいるとき
ほかのどんなものも
ぼくにかさなって
ここにいることはできない

もしもゾウがここにいるならば
そのゾウだけ
マメがいるならば
その一つぶのマメだけしか
ここにいることはできない

ああこのちきゅうのうえでは
こんなにだいじに
まもられているんだ
どんなものがどんなところに
いるときも

その「いること」こそが
なににもまして
すばらしいこととして

この詩の作者、まど・みちおさんは、「この世の中のありとあらゆるものは、すべてが自分としての形や性質を持っていて、それぞれに尊い」と感じていらっしやいます。また、「そこにあるだけ、いるだけで祝福されるものであり、みんながみんな心ゆくままに存在していいはずなんです」とおっしゃられています。

私たち人間は、とかく人と自分を比べ、人のまねをしたり、人をうらやんでしまったりして、かけがえない自分を損なってしまうことがあります。人種や国籍、宗教の違いなどを理由に差別をする人もいます。コロナ禍は少し脱しつつありますが、この3年様々な苦しい経験をされた方も多くいるのではないのでしょうか。この詩は、私たち人間の心に、「あなたは、あなたで、そのままでもいいんだよ」と語りかけてくれます。

さあ、もうすぐ夏休みです。子どもたちには、松浦の自然を感じ、自分の家族の大切さを感じ、学ぶことのおもしろさを感じ、充実した日々を過ごしてほしいです。そして、自分の存在の大切さにも、改めて気付いてほしいです。

安全で、有意義な夏休みとなるよう、ご配慮のほど、よろしくお願いいたします。

なかよし集会

6月20日、みんなが仲よく、思いやりの心をもって生活することの大切さを感じることができるよう、なかよし集会を行いました。内容は、読み聞かせ、各学年の取組発表、レクリエーション、合唱です。それぞれが自他の心と命の大切さを意識していて、とても充実した集会となりました。



ヤマメ釣り

6月23日(金)、4~6年生でヤマメ釣りに行きました。上志佐の自然を生かした仕事のことや、釣りの醍醐味、命をいただくことの意味等について、深く学ぶことができました。

